

合い言葉は
3つ

（今、家庭の節電・省エネが求められています！）

家庭で使っている機器と使用実態、機器の省エネ効果を踏まえて、「カット」「シフト」「チェンジ」の3つを組み合わせた取組みが重要です。

節電はどうすれば良いのかを考えてみましょう！

節電に必要な3つのこと

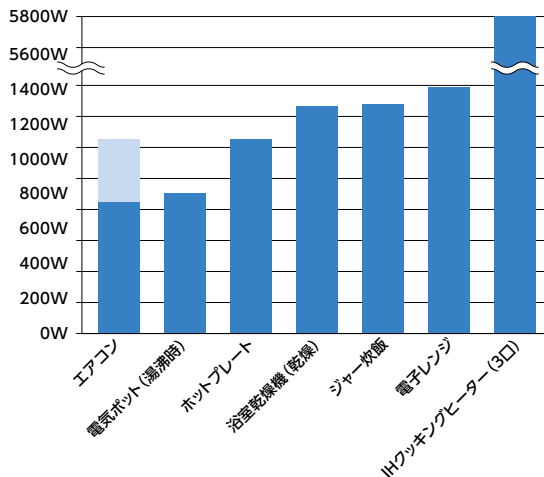
1 〈カット〉 (減らす)
電力使用量を削減する

2 〈シフト〉 (ずらす)
ピーク時(13～16時)の使用を避ける

3 〈チェンジ〉 (切り替える)
省エネ製品に切り替える、ガス、自然エネルギーなどの活用

家庭で使用する主な電気製品の定格消費電力(抜粋)

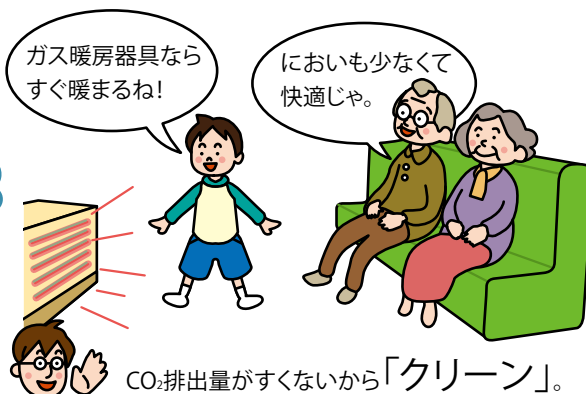
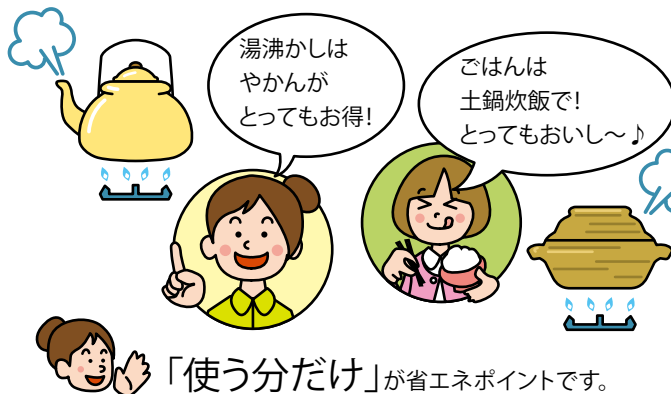
出典:資源エネルギー庁調べ



※これは定格消費電力の一例であり、実際の消費電力は、製品の種類、使用方法等により異なります。

（夏期の対応はどうするの？）

（冬期の対応はどうするの？）



（LPガス機器で節約! 最新ガス機器）

家庭用燃料電池 「エネファーム」

LPガスから水素を取り出して空気中の酸素と化学反応させることにより発電を行うのが燃料電池です。騒音もなく、環境にやさしく、排熱を暖房や給湯にも利用でき、高い効率でエネルギーが活用できます。地球温暖化や省エネルギー等の課題を克服するうえでも有用なシステムです。



発電所による発電方法はエネルギー効率が36%と非効率。でもエネファーム発電なら……
70～90%と効率的!



高効率給湯器(潜熱回収型給湯器) 「エコジョーズ」



従来の給湯器がムダに捨てていた排気ガス中の排気熱を利用した高効率の給湯器で、省エネに役立ちます。

高効率ガスコンロ 「Siセンサーコンロ」

バーナーやグリルの燃焼効率が改善され省エネ性が向上しています。

